

チェックターミナル（大口用）取扱説明書

⊘ 禁止 北陸電力送配電株式会社以外の設備には使用しないでください。

取付方法

1. 計器ボックス内の木板またはアクリル板にビス(M5×40mm)、ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットを使って取り付けてください。

⚠ 注意

蓋の表示を確認して、計器側と変成器側を間違いないように取付けてください。

2. 7色の色別電線を使用してWHMとチェックターミナルを接続してください。
チェックターミナルの電線接続端子に、先端半田又はMCキャップ処理した電線を入れ、ドライバーで締付けてください。

3. 電線接続端子の構造は第2図のようになっています。
端子ネジはゆるめてありますので
そのまま電線を入れてください。

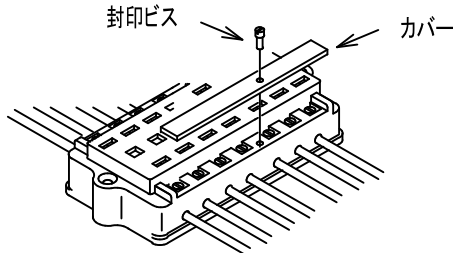
⊘ 禁止

端子ネジをゆるめないでください。

更に端子ネジをゆるめ過ぎますと電線が入りません。

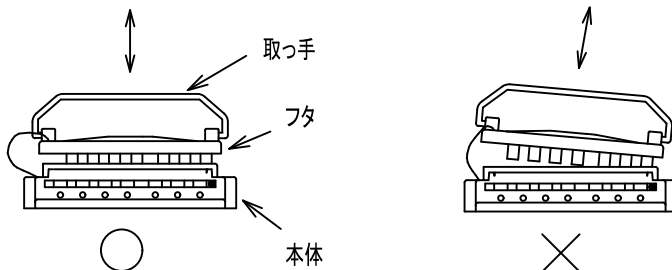
4. 端子ネジ締付け後、電線を引っ張り**接続を確認してください。**

5. 電線を接続した後、カバー（透明アクリル）を封印ビスで留めてください。

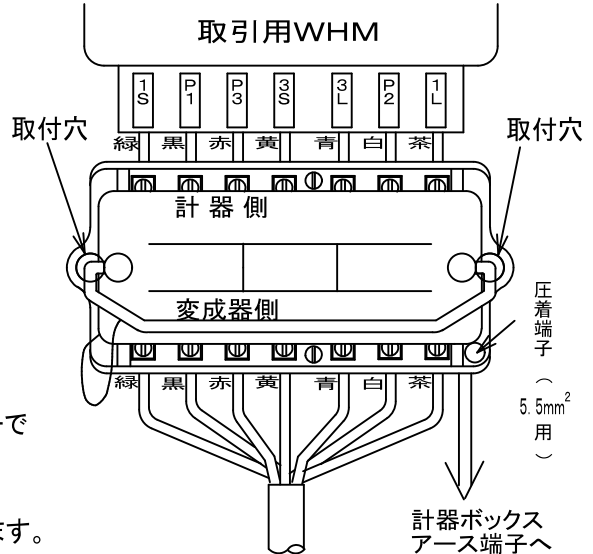


⚠ 注意

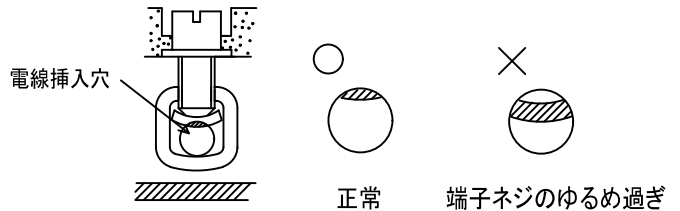
フタの開閉は取っ手を両手で持ち、必ず水平、垂直に行ってください。



(第1図)

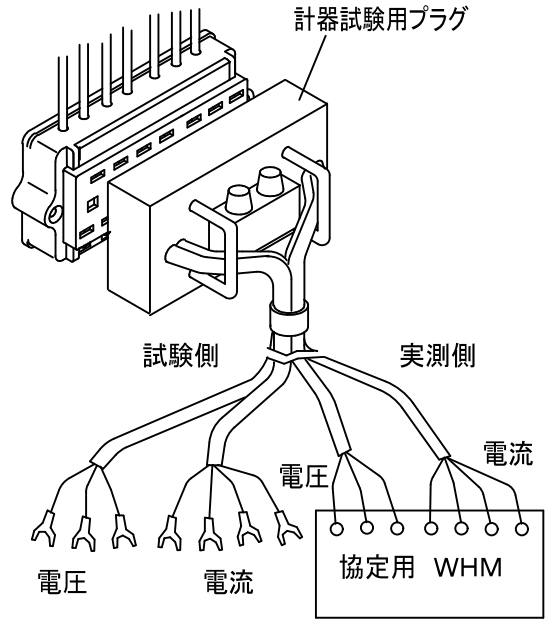


(第2図)



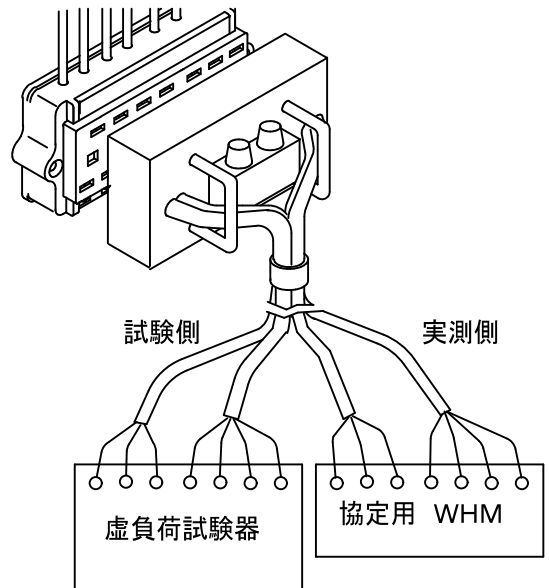
計器取替時の協定電力量の測定方法

1. 計器試験用プラグのコード先端(実測側)に協定用WHMを接続し、チェックターミナルにプラグを挿入してください。
(取引用WHMの回転停止、協定用WHMの回転開始を確認してください。)
2. 試験側電圧端子は端末絶縁キャップをしてください。
3. 計器取替えが完了しましたら、チェックターミナルの蓋を水平に冠装してください。
(プラグを抜いたとき、取引用WHMの回転開始を確認してください。)



計器の保守点検試験方法

1. 計器試験用プラグのコードの先端をそれぞれ接続します。
 実測側 —— 協定用WHM
 試験側 —— 虚負荷試験器
2. 虚負荷試験器の電源を切って、チェックターミナルにプラグを挿入してください。
(取引用WHMの回転を確認しながら挿入してください。)
3. 試験が終了したらチェックターミナルからプラグを抜いて、蓋を冠装してください。
(取引用WHMの回転を確認しながら抜いてください。)



⚠ 注意

チェックターミナルは必ずフタを装着してください。

本品は、密閉構造ではありませんので、ホコリ・異物などが接点部分に入ると、変成器側と計器側の導通を損なうおそれがあります。

● 強制

通電中、チェックターミナルのフタを外す際は、計器の回転、CT・PTの状態に注意しながら行ってください。

高千穂産業株式会社

西日本支社(大阪営業所)
(名古屋営業所)

〒550-0012 大阪市西区立売堀2-1-11 TEL(06) 6536-1730
 〒482-0041 愛知県岩倉市東町江東10-1 TEL(0587) 37-7771

岩倉工場

〒482-0041 愛知県岩倉市東町江東10-1 TEL(0587) 37-7771